

■介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士の資格(受験資格を含む)が取得できる
専門学校・養成校・大学・短期大学一覧(神奈川県)

介：介護福祉士
社：社会福祉士
精：精神保健福祉士

種別	養成校	学科	所在地・URL・電話	介	社	精
専門学校	大原医療秘書福祉保育専門学校横浜校	介護福祉学科	横浜市神奈川区桐畑 3-7 https://www.o-hara.ac.jp/senmon/hukushi/ TEL:045-311-6821	●		
	神奈川社会福祉専門学校	介護福祉科	平塚市立野町 1-1 https://www.kanafuku.ac.jp/ TEL:0463-30-3231	●		
	湘南医療福祉専門学校	介護福祉科	横浜市戸塚区川上町 84-1 https://www.snm.ac.jp/kaigo/ TEL:045-820-1329	●		
	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	社会福祉専攻科(通信)	茅ヶ崎市南湖 1-6-11 https://www.crc.ac.jp/ TEL:0467-88-6611		●	
	医療ビジネス観光福祉専門学校	介護福祉学科	相模原市南区上鶴間本町 3-18-27 https://www.mbsi.ac.jp/sp/ TEL:042-744-9711	●		
	YMCA健康福祉専門学校	介護福祉科 社会福祉科(通信) 精神保健福祉科(通信)	厚木市中町 4-16-19 https://www.yokohamaymca.ac.jp/health/ TEL:046-223-1441	●	●	●
養成校	全国社会福祉協議会中央福祉学院	社会福祉士短期養成通信課程 社会福祉士通信課程(募集停止中) ※入学には条件があります。 詳細はHPをご確認ください。	三浦郡葉山町上山口 1560-44 https://www.gakuin.gr.jp/ TEL:046-858-1355		●	
大学・短期大学	神奈川県立保健福祉大学	保健福祉学部社会福祉学科 *介護福祉士・社会福祉士はコース選択者のみ	横須賀市平成町 1-10-1 https://www.kuhs.ac.jp/ TEL:046-828-2500	●	●	●
	関東学院大学	社会学部現代社会学科	横浜市金沢区釜利谷南 3-22-1 http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/ TEL:045-786-8979		●	
	星槎大学	共生科学部福祉専攻(通信)	横浜市青葉区さつきが丘 8-80 http://seisa.ac.jp/program/course.html#fukushi TEL:045-979-0261		●	
	鶴見大学短期大学部	専攻科福祉専攻	横浜市鶴見区鶴見 2-1-3 https://www.tsurumi-u.ac.jp/life/1/ TEL:045-581-1001	●		
	田園調布学園大学	人間福祉学部 介護福祉専攻 社会福祉学科 社会福祉専攻	川崎市麻生区東百合丘 3-4-1 https://www.dcu.ac.jp/ TEL:044-966-9211	●	●	●
	東海大学	健康学部 健康マネジメント学科	平塚市北金目 4-1-1(湘南キャンパス) https://www.u-tokai.ac.jp/ TEL:0463-58-1121		●	●
	明治学院大学	社会学部社会福祉学科	●東京都港区白金台 1-2-37(白金キャンパス) ●神奈川県横浜市戸塚区上倉田町 1518(横浜キャンパス) http://www.meiji-gakuin.ac.jp/ TEL:03-5421-5151		●	●
	和泉短期大学	専攻科介護福祉専攻	相模原市中央区青葉 2-2-1 https://www.izumi-c.ac.jp/introduction/ TEL:042-754-1133	●		
	相模女子大学	人間社会学部 社会福祉士国家試験受験資格課程	相模原市南区文京 2-1-1 https://www.sagami-wu.ac.jp/ TEL:042-742-1411		●	

現役高校生からみた
福祉の世界



介護の
チカラ

介護の仕事をめざす
応援ナビ

M Y W O R K I N G

■情報提供機関

神奈川県福祉子どもみらい局 福祉部地域福祉課	横浜市中区日本大通 1 TEL:045-210-1111 (代表)
神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉人材センター 福祉・介護の仕事の相談窓口として、様々な求人情報を見ることが出来ます。また、専門スタッフによる相談なども無料でを行っています。	横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター 13 階 https://www.kfjc.jp/ TEL:045-312-4816 FAX:045-313-4590
横浜市介護人材関連情報	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/shigoto/kaigo/zinzaikakuho.html
横浜市社会福祉協議会 福祉保健の研修情報やボランティア活動情報等を見ることが出来ます。また、全国の都道府県・指定都市・市町村社会福祉協議会等とリンクしています。	横浜市中区桜木町 1-1 横浜市健康福祉総合センター7~9階 http://www.yokohamashakyo.jp/ TEL:045-201-2096 FAX:045-201-8385
川崎市社会福祉協議会 川崎市福祉人材バンク 川崎市内の福祉・介護の仕事の相談窓口です。市内の施設や事業所の求人情報を見ることが出来ます。福祉の仕事や資格等に関する相談に応じてます。	川崎市中区上小田中 6-22-5 川崎市総合福祉センター5階 川崎市社会福祉協議会内 http://www.csw-kawasaki.or.jp/jinzai/ TEL:044-739-8726 FAX:044-739-8740



注1)この一覧表は令和4年2月現在の内容です。詳しくはお問い合わせください。

■協力

- 横浜市いずみ中央地域ケアプラザ
- 横浜市福祉サービス協会
- 神奈川県立二俣川看護福祉高等学校
- 特別養護老人ホーム 新鶴見ホーム
- 横浜市港南区社会福祉協議会
- 横浜市立中和田中学校
- 港南中央地域活動ホーム そよかぜの家
- 横浜市社会福祉協議会
- 横浜市教育委員会

■奥付

介護の仕事をめざす応援ナビ 介護のチカラ 平成21年3月初版発行 平成30年3月第6版発行(令和5年6月改訂)
発行 横浜市健康福祉局高齢健康福祉課
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 電話 045-671-3920 FAX 045-550-3613





たくさんの介護のカタチを見てきた私達の体験記

白杖をついている方、車いすを使用している方、酸素をしている方など街の中でもこんな風景をよくみかけます。

そんな方々にちょっと手を差し出すと、「笑顔」が返ってきました。

さらに「ありがとう」という一言に元気づけられ、

『手助け』に魅力を感じました。

福祉に関心を持つようになった私達に、今回、福祉・介護を『仕事』としている方々の職場を訪ねるチャンスがやってきました。

『人として向き合い、その人を理解し、その人らしく生きられるようにサポートをする。それが私達の仕事です』と答えた若いスタッフの笑顔が印象的でした。暮らしの中の『手助け』は『介護』という仕事になっていくのですね。



このパンフレットは、平成29年10月から12月にかけて取材・撮影したものです。高校生6名(横浜市在住)が、市内の高齢者・障害者施設を訪問し、お手伝いや見学を通して、利用者やスタッフの方とのふれあい体験をしました。

CONTENTS

● MY WORKING

- 介護福祉士 石川 望瑛さん……4 ページ
ダンタさん
- 介護福祉士 持田 孝嶺さん……6 ページ
永成 彩乃さん
- 生活支援員 山田 友理さん……8 ページ
- 活動支援員 木下 充さん…10 ページ

● CAREER STEP

- 施設所長 鈴木 登志子さん…12 ページ

● 介護データBOX

- ◆ 介護・福祉職場で働くときの資格
- ◆ 資格の取得方法と仕事内容
- ◆ 神奈川県介護福祉士等修学資金貸付制度について
- ◆ 介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士の資格(受験資格含む)が取得できる専門学校・養成校・大学・短期大学一覧(神奈川県内)
- ◆ 情報提供機関





ちょっと嫌だなと思う事があっても、「ありがとうね」の一言と笑顔で救われる



PROFILE
ダンタさん

インドネシアで看護師をしていたが、EPA(経済連携協定)により来日。新鶴見ホームに就職し「介護福祉士」の資格も取得。



石川 望瑛さん

中学生の時に、祖母の病気をきっかけに福祉に興味を持ち、福祉系の大学へ進学し、卒業と共に新鶴見ホームへ就職して2年目。

● 特別養護老人ホームってどんな所？

家族の元で暮らせることが幸せであっても、家族や在宅介護サービスの利用だけでは、自宅での生活を続けることが難しい。そのような、在宅介護による生活の維持が困難となった高齢者が入居する介護施設のひとつに、特別養護老人ホーム(特養)がある。

● 看護師の仕事と、似ているところ違う所

介護福祉士の資格を持ち、特別養護老人ホーム「新鶴見ホーム」でキャリア9年目のダンタさんはインドネシア出身の介護スタッフだ。EPA(経済連携協定)に基づき、インドネシアからは2008(平成20)年度、フィリピンからは2009(平成21)年度、ベトナムからは2014(平成26)年度から、外国人看護師・介護福祉士の候補の受け入れが始まった。ダンタさんは、まさにその1期生ということになる。

元々インドネシアでは看護師として働いていたダンタさん。「インドネシアでは日本のような高齢者介護の仕事はありませんでした。そこに興味をひかれて」と、EPAでは看護師ではなく介護福祉士を選んだという。実は、介護の仕事は看護師の仕事と重なる部分も多い。「基本的な人間としての必要な事、例えば排泄とか食事とかに関するケアや、感染など注意すべきこと」など看護師として学んでいたことが、そのまま当てはまるという。しかし「医療的な部分は、介護福祉士はやってはいけない部分もある」ので、看護師と介護福祉士は役割を分担し協力しあう関係にある。



● 祖母の病気をきっかけに、介護や福祉に興味。

福祉系の大学を卒業し、新鶴見ホームで働き始めて2年目。まだ初々しさも残る石川さんが福祉の世界に興味を持ったのは、石川さんが中学生の時に、親しかった祖母が脳梗塞を患ったのがきっかけだった。右半身麻痺になり、それがだんだんに動かせるようになっていく過程で理学療法士のことを知った。そして装具について調べたりしているうちに「介護福祉士という仕事があるのを知って、やってみたい」と漠然と考えるようになり、介護コースのある大学へ進学。そこで学んではいたものの、実際に働いてみると「最初のころは日々の業務に追われて、お客さんと話していても余裕は無かったかも」と振り返る。

● お客さんが喜んでいて、自分も暖かい気持ちに

最初はお風呂に入りたがらなかった方に、「やっぱり気持ちよかった、お風呂に入ってよかった」と言ってもらえた時は、そのうれしさが伝わってきて自分もほころぶとダンタさんはいふ。これは、介助がお客さんに伝わった喜びでもある。石川さんも「色々な方がいるんですけど、ふとしたときに一緒に笑っていたりとか、そういう…暖かい気持ちになれる仕事だなと思います。」と、介護の仕事の面白さを語る。介護の必要な人と介護をする人、一方通行ではないお互いの「伝わり」が感じられた時が「この仕事をやっていて良かった」と思える時だというのは、ダンタさんも石川さんも同じだった。

高校生の現場ルポ/
レクリエーション・脳トレ体操など体験

○さん: オセロはとても強かった。そのあと話が弾んで、医療関係の進路の話だとか仕事の心構えだとか時間守らないのは許せないよねとかいう話で結構盛り上がりました。

Wさん: オセロしながら、生い立ちなど結構話が聞けました。オセロは歯が立たなくて、色々教えてもらいました。それから脳トレ体操は自分も意外に出来なくてまズいなど。

○さん: 施設なので特別な事してるのかなと思っていただけ、家での普通の行動や会話なので、それは少し偏見だったのかなと今日は感じました。



きょうの仕事 \ タイムスケジュール

9:00 〜 9:30	● 出勤後、夜勤のスタッフとの交代連絡。
9:30 〜 11:30	● 機能訓練・リラクゼーションを中心に利用者と過ごす 入浴・洗たく・散歩・音楽を聴く等。
11:30 〜 13:30	● 昼食の準備 利用者とともに職員も同じ時間に昼食をとる
13:30 〜 17:00	● 食事の後片付け その後は利用者の希望に合わせた介助などを中心に過ごす
17:00 〜 18:00	● 夜勤スタッフとの交代連絡

◆ 夜勤の場合

- 17:00 ~ 日勤スタッフとの交代連絡・利用者の入浴介助など
- 18:00 ~ 夕食の準備と利用者との食事・後片付け
- 18:00 ~ 安全確認など



施設紹介 社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会
特別養護老人ホーム 新鶴見ホーム・新館

特別養護老人ホーム(定員267人)のほか、ショートステイ(定員66人)やデイサービスなども行っている市内屈指の都市型大規模施設。地域交流室を設置し、子育て支援グループなどの地域住民の活動への取り組みも積極的に行っている。JR川崎駅からバスで約15分、江ヶ崎八幡バス停から徒歩1分。JR南武線の「尻手」または「矢向」駅からは徒歩で約15分。



〒230-0002 横浜市鶴見区江ヶ崎町 2-4-2
電話 045-570-5000
FAX 045-570-5001
<https://www.hama-wel.or.jp/branch/shinturumi/>



高齢の方たちにも、出来る事は沢山ある。 それを支援し楽しく過ごせる環境作り



●覚える事が多くて、最初は大変でした

施設の車を使っての利用者さんの送り迎えも、デイサービスのスタッフの仕事。もちろん持田さんも永成さんも例外ではない。そこで持田さんは「実は地図が苦手なんです。今はそれが一番大変かも」と笑う。自宅前までなので細く入り組んだ道も多い事に加え、雨の日などは傘をさして介助して車に乗せて運転するというのを一人で全部やる場合もあり、地図が苦手でも大変なのだ。

永成さんは「初めのころは覚える事が多くて大変だった」という。利用者さんの名前を覚えることもだが、一人ひとりの生活歴から体のこと、それらは個人情報でもあるのでメモを取ってポケットに忍ばせておくということも出来ない。しかし、「覚えるようになってからは、気持ちにも余裕が出てきて全体が見られるようになった」ともいう。

●ここへ来て良かった、の一言が一番うれしい

この仕事をしていてうれしさを感じるのは「利用者さんと仲良くなれた時」だと、持田さんも永成さんも言う。プライドの高い人など、打ち解けたくても壁が出来てしまう方もいる。でもコミュニケーションを重ねていくうちに興味のあるものを知り、そこから話をするようになり仲良くなれた時は「ヤッター」という感じだという。そして笑顔が見られた時、硬い表情が和らいで「ここへ来て良かったと言ってもらえたときが何より」という二人の表情も柔らかい笑顔にあふれていた。

高校生の現場ルポ/ 脳トレ・個別運動指導・食事時間体験

Sさん:間違い探しとか塗り絵と一緒にやってみましたが、意外と頭を使う所が多くて難しかったです。でも、一緒に何かをやっていると初対面でも結構打ち解けられるんだなと思いました。

Hさん:私も、最初は話が出来るかなと心配でした。ボールを使った運動も、やってみたら意外にキツかった。毎日出来そうだけれど結構いい運動になるんだなと。

Sさん:あと、結構色々なことをしてるんだなと思いました。実際に体験してみて、それを知ることが出来たのも良かったと思います。



きょうの仕事 \ タイムスケジュール

8:30	● 出勤 ● スタッフミーティングを経てその日のデイサービスに入る ● 利用者の自宅にお迎え
9:45	● 健康チェック ● 入浴介助 ● 機能訓練(趣味に応じた個別レクリエーション)
12:15	● 昼食
13:00	● 口腔ケア
13:45	● 全体レクリエーション 機能訓練・体操 3時のおやつタイム
15:15	● 個別レクリエーション
16:50	● 利用者を自宅に送り届け、ケアプラザに戻って片付けや翌日の準備をし退所



施設紹介 社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会 横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

福祉総合相談窓口(地域包括支援センター)の機能を担う、地域ケアプラザ。認知症対応を含む高齢者向けのデイサービスのほか、福祉・保健の相談・支援や介護のケアプラン作成、地域福祉の活動と交流の場の提供などを行う。地域の誰もが安心して快適な生活を送るための、地域福祉の拠点を目指している。アクセスも、相鉄線いずみ中央駅より徒歩5分と良好。

〒245-0024 横浜市泉区和泉中央北 5-14-1
電話 045-805-1700(代表)
FAX 045-805-1798
<https://www.hama-wel.or.jp/office/izumityuuou/>



PROFILE

たかね 持田 孝嶺 さん(右)

平成20年から、いずみ中央地域ケアプラザで働き今年で10年目。介護福祉士の資格を持つ頼れる先輩。

えいなる 永成 彩乃さん(左)

保育園で働いているときに「初任者研修」資格を取得。それを期にいずみ中央地域ケアプラザへ転職。

横浜市いずみ中央地域ケアプラザで、デイサービスのスタッフとして働く持田孝嶺さんと永成彩乃さん。永成さんは勤め始めて2年目ということで、3年で受験資格が得られる「介護福祉士」の国家試験を目指して勉強の日々でもある。

●介護への興味は元々あった

持田さんがデイサービスの仕事に興味を持ったのは、中学高校の時に、近所のデイサービスにボランティアで参加してみ、「楽しいじゃん!」と思った時だという。楽しいレクリエーションを見てしまって、楽しそうだなと。ただ実際に仕事として携わってみると、楽しいばかりじゃないとは理解しつつも「そこまでするんだ」という大変さも知ったという。「やっぱり、中学生高校生のボランティアの時間って、お風呂は見れないトイレも見せないし、やっぱり楽しいところを見せるので」と、今ではボランティアさんを受け入れる立場で当時を振り返る。

永成さんは「母が、子供を育て終わってから介護の仕事をしたので「いずれは自分も母のように介護の仕事に関わりたい」と思いながら保育園で働いていたという。そこで、「介護職員初任者研修」の資格を取って見たら、「ちょうど良いタイミングで求人が出ていた」ので、こちらへ転職したという。





過ごしたいように過ごしてもらるのが基本
少しの介助で、出来ることは広がる。

PROFILE

山田 友理さん

曾祖母の怪我を契機に福祉に興味を持ち、大学は人間福祉学科に進学。卒業後、社会福祉法人 そよかぜの丘へ。ショートステイ・一時ケア・余暇支援のスタッフとして活躍中。

「港南中央地域活動ホーム そよかぜの家」で生活支援スタッフとして活躍する山田さん。ショートステイや一時ケアといった生活支援に加え、障害者の余暇活動支援も担当している。一時ケアは、障害者の「朝から夜までの時間帯の、1時間単位で利用出来る一時預かり」で、ショートステイは「夜の時間帯、5時から翌朝9時のお泊り」。これらは家族の方が、例えば入院や冠婚葬祭などの用事で障害児・障害者本人の介助を行えない時や「一時的に介護から解放されての休息(レスパイト)」が必要な時などにも活用してほしい福祉サービスだ。余暇活動は「ボーリングへ出かけたりカラオケへ行ったり、電車とかドライブでお出かけしたり」。これはレスパイトケアの要素もあるが「主に本人の楽しみを作る支援ですね」と山田さんは解説する。

●曾祖母の怪我が、福祉の道を選ぶきっかけに

自分の進路を考え始めていた高校生の頃、「曾祖母が足を骨折して動けなくなったんです。何でも自分でやっていた人なので介護を受け入れられなくて、でも自分には知識もなく専門的な介助も出来ない」ので、どうしようかなという感じになってしまったという。けれど「うちの曾祖母には周りに支えてくれる家族がいた」のでまだ良かった。テレビなどでは、老後の介護であったり高齢者の一人暮らしの問題なども良く見る。このことをきっかけに、山田さんは「人の役に立ちたい」という思いから福祉への道を選んだという。



●学ぶうちに、興味は高齢者から障害者へ

高校を卒業した山田さんは、福祉系の四年制大学へ進学。始めは高齢者福祉を目指していたが、大学で勉強しているうちに障害者福祉にも興味が出てきた。社会福祉士の受験資格を取るための実習先を選ぶ時に、山田さんは障害の施設を選び、そこで一か月間の実習を経験する。精神障害・知的障害の方と密に関わったのは初めてということもあり、「思ってることもわからないし、何でもかこういうことをしてるかも良くわからないし」で大変だったという。そして「実際に大きいパニックが目の前であった時とか結構ビビっちゃう。それでも、その職員の方は淡々と対応しているところを見て、すごいなと思った」と当時を振り返る。

●その人が過ごしたいように過ごせること

「大きいパニックを起こされたり、他害とか自傷のある方もいらっしゃるし、その人によって落ち着く方法や対応もそれぞれ違う」ので日々苦労は絶えない。しかし、基本は「その人の過ごしたいように過ごしてもらおう」こと。また、「介助になるので肉体的にも技術は必要だし覚悟も必要」だけれど「その子が楽しく過ごして居る様子とか、心から楽しいんだろうなという顔が見られると、やはりいいなと思います」と、この仕事の難しさややりがいを教えてくれた。



きょうの仕事 \ タイムスケジュール

7:00 〜 8:00	● 出勤後、担当する利用者の部屋を訪ねて起床の介助
8:00 〜 9:30	● 朝食の用意・食事介助と後片付け
9:30 〜 11:30	● リラクゼーションを中心に利用者とは過ごす 洗濯・散歩・音楽を聴く・喫茶店に行く
11:30 〜 13:30	● 昼食の準備 利用者とともに職員も同じ時間に昼食をとる
13:30 〜 16:00	● 食事の後片付け その後は利用者の希望に合わせた介助などを中心に過ごす
16:00 〜 18:00	● 夜勤スタッフとの交代連絡

◆夜勤の場合

- 16:00 ~ 日勤スタッフとの交代連絡・利用者の入浴介助など
- 18:00 ~ 夕食の準備と利用者との食事・後片付け
- 18:00 ~ 安全確認など

■施設紹介 社会福祉法人 そよかぜの丘
港南中央地域活動ホーム そよかぜの家

地域活動ホーム「そよかぜの家」は「生活支援事業」や日中活動などを提供するほか、港南区社会福祉協議会や隣接する地域ケアプラザと連携し、障害のある方の地域生活を総合的に支援する「地域の拠点」となっている。
市営地下鉄「港南中央」駅またはバス停「港南区総合庁舎前」より徒歩3分。



〒233-0003 横浜市港南区港南 4-2-8
電話 045-847-0230
FAX 045-845-5610
http://www.soyokaze.or.jp/



頑張りがカタチになる達成感が笑顔を呼ぶ。その表情が見られた時は自分もうれしい。



PROFILE

木下 充 さん

大学を卒業して食品系の会社へ就職。その後、福祉の道を志し専門学校へ通う。前職も考慮し、就職先に「社会福祉法人 そよかぜの丘」を選び現在へ至る。



「港南中央地域活動ホーム そよかぜの家」では、障害者の日中活動支援も行っている。そのプログラムの一つに、パンの製造と販売、喫茶運営があり、そのグループのリーダーが木下さん。パン工房で利用者が協力して焼き上げた手作りのパンを、「そよかぜの家」にある喫茶、隣接する港南区役所で販売するほか、近隣の保育園などからの注文もあるという。

●可能性をあきめないという気づき

木下さんは、子供のころから病院通いが多かったという。そのこともあって自分の可能性に関し、どこか前向きに成り切れない気持ちもあった。しかしそれは色々な経験を積み大人になって気づいたこと。そして「もったいなかったな」と木下さんは振り返る。大学を卒業した木下さんは、食品系の企業へ就職。そして社会人として生活するうちに、漠然と何か

をあきめていた自分に気づいた。元々、福祉関係には興味があったこともあり、転職を機に「障害のある人が可能性の機会に触れる、そんな仕事が出来たらいいな」と、福祉関係の仕事へのチャレンジを決意した。しかし、福祉に関する知識が全く無かったので「まずは一般的な福祉の勉強をしよう」と専門学校へ1年間通った。専門学校での勉強は、社会福祉士の養成課程ということで座学が中心。「その1年間で福祉に触れたか」というとそうでもなく、現場も見たほうが良いな」と考え、ボラン

ティアにも積極的に参加したという。そして専門学校卒業後に「社会福祉法人 そよかぜの丘」へ就職。ここを選んだのは「前職が食品を扱う仕事だったのと、障害の施設ということにつながって」という。そして同法人が運営する「そよかぜ南の家」でパンの製造を担当した後、今は「そよかぜの家」でリーダーとして喫茶を含めたグループを統括している。

●一人ひとりに合わせた支援の大切さ

利用者は知的障害の方がほとんどで、ダウン症の方もいる。しかし「同じ障害の名前がついていても、人それぞれでひとくくりには出来ない。そういった一人ひとりにあわせた支援というのは、本当に現場に出てみないとわからない。人の数だけ支援の方法があるんです」と木下さんは語る。そして「一生懸命に自分の気持ちを伝えようとしているんだけど、上手く理解しきれてなかった事もある。そういう対応で良かったのかなと、その都度考えて次の支援に生かす」繰り返しだという。

●パンの販売を通じての地域の人との交流

「一般の方々と障害者の方々と、身近にいないとあまり接する機会が無いですよ」と木下さん。パンの製造販売は、利用者さんが地域に出ることによる利用者さん自身の社会参加にとどまらず、一般の方々が利用者さんに接する機会にもなっている。そこで多くの人に障害が理解されることで「障害者が、地域で、過ごしやすい環境になっていく気がするんです。」と、地域の人との交流の意味とパンの製造販売の意義を静かに語った。

きょうの仕事 タイムスケジュール	
8:30	● 出勤 ● パン製造の段取り確認
9:30	● 利用者とのパン製造開始
11:30	● 焼き上がったパンを利用者と販売
12:00	● 昼食
13:00	● 明日の下準備
15:00	● 午後～夕方のお客様対応
17:30	● 終了作業 閉店



高校生の現場ルポ/
グループ散歩・談話などを体験

Hさん: 障害のある方と接するのは初めてで、何を話していいかわからなくてすごく大変でした。けれどもフレンドリーな方が多かったので、楽しかったです。

Fさん: 散歩では手をつなぐ予定だったけれど拒まれてしまって、少し悲しかった。でも、途中の公園で楽しんだりリレー競争では利用者さんが楽しんでいる姿が見られていいなと思いました。グループ談話では、質問も沢山されて楽しかったです。

Hさん: 体験の限られた時間だったけれど、だんだん距離が近づいてきた感じがしたので、もう少し触れ合いたかったと思いました。



施設紹介 港南中央地域活動ホーム そよかぜの家
喫茶スペース 「風の店」

社会福祉法人そよかぜの丘が運営する、「港南中央地域活動ホーム そよかぜの家」。その1F玄関を入ったすぐ脇に設けられた喫茶スペースが「風の店」だ。お昼前には、利用者さんによる作り立てのパンが隣室のパン工房から所狭しと並べられる。地域に開かれたオープンスペースとして明るい雰囲気、日中活動支援による絵画などの作品展示も楽しめる。

〒233-0003 横浜市港南区港南 4-2-8
電話 045-847-0230
FAX 045-845-5610
<http://www.soyokaze.or.jp/>





福祉の仕事は、ずっと勉強ですね。
それは、好きな仕事・良い仕事をしていくために。

PROFILE

としこ
鈴木登志子さん

銀行勤務を経た後、協力ヘルパー(非常勤の訪問介護員)として福祉の世界へ。介護支援専門員などを経て平成21年(2009年)には「舞岡柏尾地域ケアプラザ」所長、平成26年(2014年)からは「いずみ中央地域ケアプラザ」の所長を務める。「介護福祉士」「主任介護支援専門員(=主任ケアマネジャー)」「福祉住環境コーディネーター2級」「社会福祉士」を取得。



●世の中が変わっていくという予感

エレベーターホールに張り出されていた横浜市のヘルパー募集の一枚の張り紙、鈴木さんは、その張り紙を見て福祉の世界への一步を踏み出した。銀行勤務を経て、結婚を期に生まれ育った山形から横浜へ。「三世同居も当たり前という環境で育ってきたので、そういうシステムがあることにすごく衝撃をうけた。」と、そのヘルパー募集の張り紙を見た当時を振り返る。他人がお年寄りの世話をするということの違和感と興味、そして何か世の中が大きく変わっていく予感に心を惹かれたという。それが「横浜市福祉サービス協会」との出会いでもある。

3か月の研修を受けて始めた協力ヘルパー。子育ての合間の非常勤から、やがて常勤となり、ヘルパーの責任者ともいえるサービス提供責任者に。そして平成12年(2000年)に、介護保険制度が始まった。鈴木さんもすぐに、介護保険制度の新しい資格「介護支援専門員(=ケアマネジャー)」を取り、ケアマネジャーになる。そして、平成17年(2005年)の介護保険法改正に伴い「地域包括支援センター」の設置が義務づけられ、地域ケアプラザも地域包括支援センターの機能を持つことになった。地域包括支援センターには、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士の3つの種類の専門員がそれぞれ必要だ。そして鈴木さんは、その中の一つ「主任介護支援専門員」になった。

●通信教育で資格を取る

それまで、高齢者の仕事だけをしてきたので、その関連の資格だけで十分だったが「地域ケアプラザは障害者支援から子育て支援までみんなやってるんですね。それでやっぱり、自分も知識が無いとダメだと思って」専門学校の通信教育で「社会福祉士」の受験資格を取り試験に合格。「好きな仕事だから、一生懸命に勉強しようという気持ちになる。いい仕事をするためには知識もなければ、思いだけでは仕事は出来ない。」と鈴木さんはいう。資格を取ることで質の良い仕事ができるし、可能性も広がる。

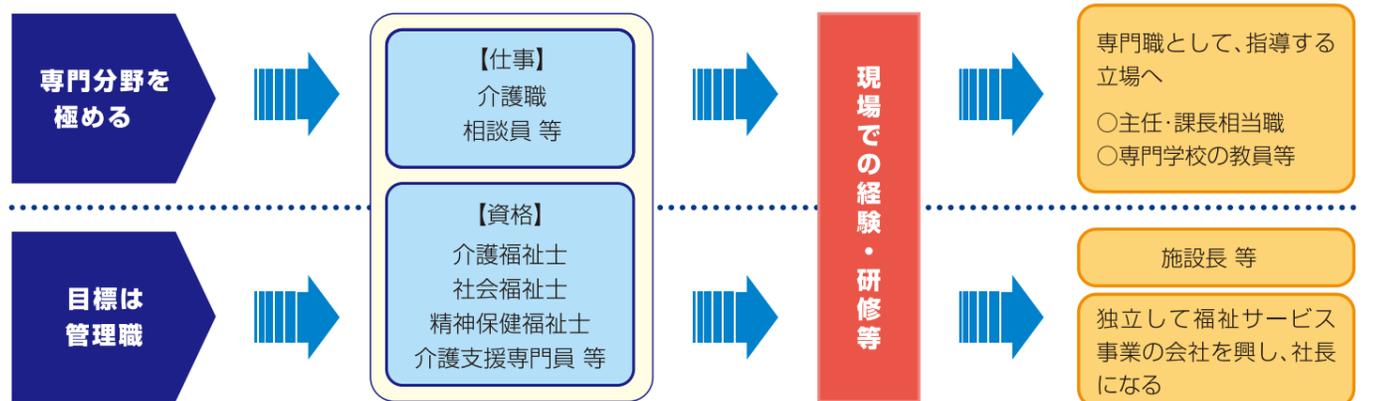
●自分の「やりたい」に向かってステップアップ

福祉の仕事に携わる経緯は様々だけれど、「色々な事やってみよううちに、自分の視野が広がって来た時に、自分のやりたいこと、心を込めて出来る仕事を選べばいい」と鈴木さんはいう。その時にも資格は意味を持つ。とにかく勉強を続けて色々な資格を取れば、福祉の仕事をもっと見られるようになり、その広がりの中で自分の好きな仕事に向かう事が出来る。そしてその時に「色々挑戦してみることも大事だ」という。最初は「自分には出来ません」という仕事でも、皆に応援され押し込まれることで出来るようになることもある。そして「出来なかったら、どうしてもダメなら、また戻ればいいんですよ」ともいう。そして、「働く環境として整っている所、新たな資格の取得を応援してくれる職場で働くことが一番」と鈴木さん。資格さえあれば自分次第で、職種も職場も「やりたい」に向かう事が出来る。そのような「好きだから、心を込めて頑張れる」への道を歩むフットワークも大切にしたい。

●高齢者介護という仕事

ケアマネジャーというのは、その人の生活をプランニングする仕事。人生の最後の部分に関わる仕事。なので、終わりよければ全てよしではないが、「その人らしく最後まで、その人の望む生活が出来るように支援していくのが私たちの仕事だと思います」と、鈴木さんは高齢者介護への思いを言葉にした。

●キャリアアップもいろいろ



鈴木さんの歩み

- 平成2年(1990年) 横浜市福祉サービス協会のヘルパー募集に応募。非常勤の訪問介護員(協力ヘルパー)となる。
- 平成10年(1998年) 常勤の訪問介護員となる。
- 平成11年(1999年) 「介護福祉士」資格取得。サービス提供責任者になる。
- 平成12年(2000年) 介護保険制度が始まる。「介護支援専門員」資格取得。
- 平成13年(2001年) 横浜市福祉サービス協会 神奈川事務所のケアマネジャー(=介護支援専門員)になる。
- 平成15年(2003年) 横浜市福祉サービス協会 戸塚事務所のケアマネジャーになる。
- 平成16年(2004年) 「福祉住環境コーディネーター2級」資格取得。
- 平成18年(2006年) (福)横浜市福祉サービス協会 横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ 地域包括支援センター 主任ケアマネジャーになる。
- 平成21年(2009年) 「社会福祉士」資格取得。横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ 所長になる。
- 平成26年(2014年) 横浜市いずみ中央地域ケアプラザ所長になる。



泉区内の中学校にての職業講話「福祉について」

介護データBOX

介護・福祉職場で働くときの資格

介護・福祉の職場で働くときに、実際に対人サービスを行う仕事や職種については、法令によって必要な資格が定められています。(一部には資格を必要としない職種もあります。)実際のサービス内容から、次のような体系の分野と資格(例)があります。



- (1) 直接支援系の仕事
 - ・高齢者、障害者(児)に対する介護業務…介護福祉士、ホームヘルパー
 - (2) 相談支援系の仕事
 - ・高齢、障害福祉などの分野での相談調整業務…社会福祉士
 - ・介護保険サービスのケアプラン作成…ケアマネジャー
 - (3) 保健・医療系の仕事
 - ・高齢、障害福祉などの分野での看護業務…看護師
 - ・リハビリテーション分野…理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
 - (4) 栄養管理の仕事
 - ・高齢、障害福祉などの分野での栄養管理…管理栄養士、栄養士
- これらの資格についてその取得方法を次に紹介します。



資格の取得方法と仕事内容

(1) 介護福祉士

- ①資格について

介護福祉士は、「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づく国家資格であり、専門的知識及び技術をもつて、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行う者と規定されています。
- ②資格取得方法

ア養成施設ルート～高校等を卒業し、指定養成施設等で2年以上就学した後、国家試験受験



- イ福祉系高校ルート～必要科目履修した後、国家試験受験
- ウ実務経験ルート～実務に3年以上従事した後、実務者研修を経て国家試験受験
- ③仕事内容

高齢者や障害者の福祉施設などで、高齢者や障害者の心身の状況に応じた食事や入浴の支援や施設内での行事やレクリエーション活動など生活全般の支援を行います。
- ④実際の職種や就職先

高齢者や障害者の福祉施設(特別養護老人ホームや老人保健施設、障害者支援施設等)において介護職(ケアワーカー)として働きます。

(2) 社会福祉士

- ①資格について

社会福祉士は、「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づく国家資格であり、専門的知識及び技術をもつて、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行う者と規定されています。
- ②資格取得方法

ア福祉系大学ルート～指定科目を履修し国家試験受験、又は基礎科目を履修し養成施設で6ヶ月以上修学した後、国家試験受験。福祉系短大等の場合は、相談援助実務(1～2年)を経て養成施設で6ヶ月以上就学の後国家試験受験
- イ養成施設ルート～福祉系以外の大学を卒業した場合、養成施設で1年以上就学の後、国家試験受験。短大等の場合は、相談援助実務(1～2年)を経て養成施設で1年以上就学の後、国家試験受験。
- ③仕事内容

利用者等の相談や関係機関との調整を図り、問題解決に向けて支援をします。



- ④実際の職種や就職先

高齢者や障害者の福祉施設の相談員や生活支援員のほか、児童福祉施設での児童指導員等や医療機関の相談員などとして働きます。このほか、都道府県、市町村の職員として福祉部門で



ケースワーカーとして働くこともあります。この場合には、各自治体の職員となる必要があります。

(3) 看護師

- ①資格について

看護師は、「保健師助産師看護師法」に基づく国家資格であり、傷病者等に対する療養上の世話又は診療の補助を行う者と規定されています。
- ②資格取得方法

看護師として働くには、看護師資格が必要となりますが、そのためには高校卒業後に看護系の大学、短大、看護学校などを卒業したのち、国家試験を受験します。
- ③仕事内容

社会福祉施設のほとんどの分野の事業所で利用者の健康管理業務や事業所の衛生管理の責任者として従事することになります。



- ④実際の職種と就職先

病院など医療機関の他、社会福祉施設においても、利用者の健康管理が不可欠であり、看護師が職員配置上必須となっている施設があります。高齢者や障害者の福祉施設ばかりでなく、児童福祉施設などでも働きます。

(4) 理学療法士・作業療法士

- ①資格について

理学療法士、作業療法士は、「理学療法士及び作業療法士法」に基づく国家資格であり、理学療法士は、身体に障害のある者に対して医師の指示の下に、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行なわせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加える(理学療法)者、作業療法士は、身体又は精神に障害のある者に対して医師の指示の下に、主としてその応用的動作能力又は社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作その他の作業を行なわせる(作業療法)者と規定されています。
- ②資格取得方法

高校卒業後、専門の大学のほか、短大及び養成校において3年以上修学したのち国家試験を受験します。
- ③仕事内容

身体的な機能の回復のために必要な専門的な訓練や作業活動を計画し実際に支援を行います。
- ④実際の職種と就職先

病院など医療機関の他、社会福祉施設でも働くことができます。特に肢体不自由施設や障害者支援施設等では職員配置上必要とされています。



(5) 言語聴覚士

- ①資格について

言語聴覚士は、「言語聴覚士法」に基づく国家資格であり、音声機能、言語機能又は聴覚に障害のある者についてその機能の維持向上を図るため、言語訓練その他の訓練、これに必要な検査及び助言、指導そ

他の援助を行う者と規定されています。

- ②資格取得方法

高校卒業後に指定養成所などで3年以上修学するほか大学などで2年以上修学で指定科目を履修したのち指定養成所などで1年以上修学をするか、一般大学を卒業後指定養成所などで2年以上修学したのち国家試験を受験します。
- ③仕事内容

病院等で、脳の疾患などが原因で人やものの名前を言おうとしても出てこない失語症や、声帯を切除し、発声に訓練が必要な者に対する訓練、あるいは、発音に障害がある、難聴があるといった、障害児・者に対する訓練などを行います。
- ④実際の職種と就職先

リハビリテーション科や耳鼻咽喉科を中心とした病院、診療所のほか、難聴幼児通園施設や重症心身障害児施設を中心とした社会福祉施設などで働くことになります。

(6) 管理栄養士・栄養士

- ①資格について

管理栄養士は、「栄養士法」に基づく国家資格であり、傷病者に対する療養のために必要な栄養の指導、個人の身体の状況、栄養状態等に応じた高度の専門的知識及び技術を要する健康の保持増進のための栄養の指導並びに特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設における利用者の身体の状況、栄養状態、利用の状況等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理及びこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導等を行う者と規定されています。
- ②資格取得方法

ア管理栄養士:養成課程のある大学等で所定の課程を履修するか、栄養士としての実務に一定期間(1～3年以上)従事したのち、国家試験を受験します。
- イ栄養士:養成課程のある大学、短大、専門学校で所定の課程を履修すると卒業時に栄養士免許が取得できます。
- ③仕事内容

食事の提供を通して、利用者の状況に応じた適切な栄養管理、栄養教育、給食管理を行います。
- ④実際の職種と就職先

高齢者や障害者の福祉施設、児童福祉施設など食事の提供を行う施設において、管理栄養士・栄養士として働きます。



(7) 介護支援専門員(ケアマネジャー)

- ①資格について

介護支援専門員は「介護保険法」に基づく資格であり、要介護者等が自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する専門的知識及び技術を有する者と規定されています。要介護者等からの相談に応じ、及び要介護者等がその心身の状況等に応じた適切な居宅サービスや、施設サービス等を利用できるように市町村、居宅サービス事業を行う者や、介護保険施設等との連絡調整等を行います。
- ②資格取得方法

介護福祉士や看護師等の保健、医療、福祉



の各分野で一定年限の実務経験を経た後、介護支援専門員実務研修受講試験に合格する必要があります。その後、都道府県が実施する介護支援専門員実務研修を受講します。

- ③仕事内容

介護保険サービス利用に当たって必要なケアプラン(介護支援計画)を作成し、サービス提供業者との調整を行います。
- ④実際の職種と就職先

介護支援専門員(ケアマネジャー)としてケアプラン作成とサービス利用調整業務に従事し、介護保険のサービス提供事業所で働きます。

(8) ホームヘルパー

- ①資格取得について

都道府県の指定を受けた団体などが行っている介護職員初任者研修を受講することが必要です。また、介護福祉士資格があればホームヘルパーとして活動できます。
- ②仕事内容

高齢者や障害者の自宅を訪問し、食事介助など直接の介護や掃除や洗濯などの家事援助を行います。また、高齢者施設などでの介護職としても従事できます。
- ③実際の職種や就職先

介護保険の訪問介護事業所のもとでホームヘルパーとして働いたり、特別養護老人ホームの介護職として働きます。



神奈川県介護福祉士等修学資金貸付制度について

- 福祉・介護の専門家を目指す皆さんを経済的に支援するため、介護福祉士又は社会福祉士の専門学校・大学・短期大学に入学する方への修学資金貸付制度
 - ※対象となる養成校については、ホームページをご覧ください。精神保健福祉士は対象となりませんのでご注意ください。
- 修学資金貸付(無利子)の内容
 - 月額5万円以内
 - 入学時・卒業時にそれぞれ20万円以内
 - 受験対策費1年度あたり4万円以内(介護福祉士のみ)
- (2年制課程での例)
 - 入学時20万円、月額5万円×24か月、卒業時20万円 合計160万円
- 返還免除について

養成施設を卒業し、資格登録から1年以内に介護福祉士または社会福祉士として県内の社会福祉施設等において、原則、常勤職員として5年間継続して介護業務や相談業務に従事した場合は、返還が免除となります。
- 被保護世帯等への貸付もあります。

詳しくは、神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉人材センター(電話045-312-4816)にお問い合わせください。
<https://www.kfjc.jp/>

介護福祉士資格取得フロー図



*1 在学中に所定の科目を取得することにより、介護福祉士国家試験受験資格を得られる高校(福祉科、社会福祉コース等)もあります。
詳しくは、裏表紙記載の学校・機関にお問い合わせください。